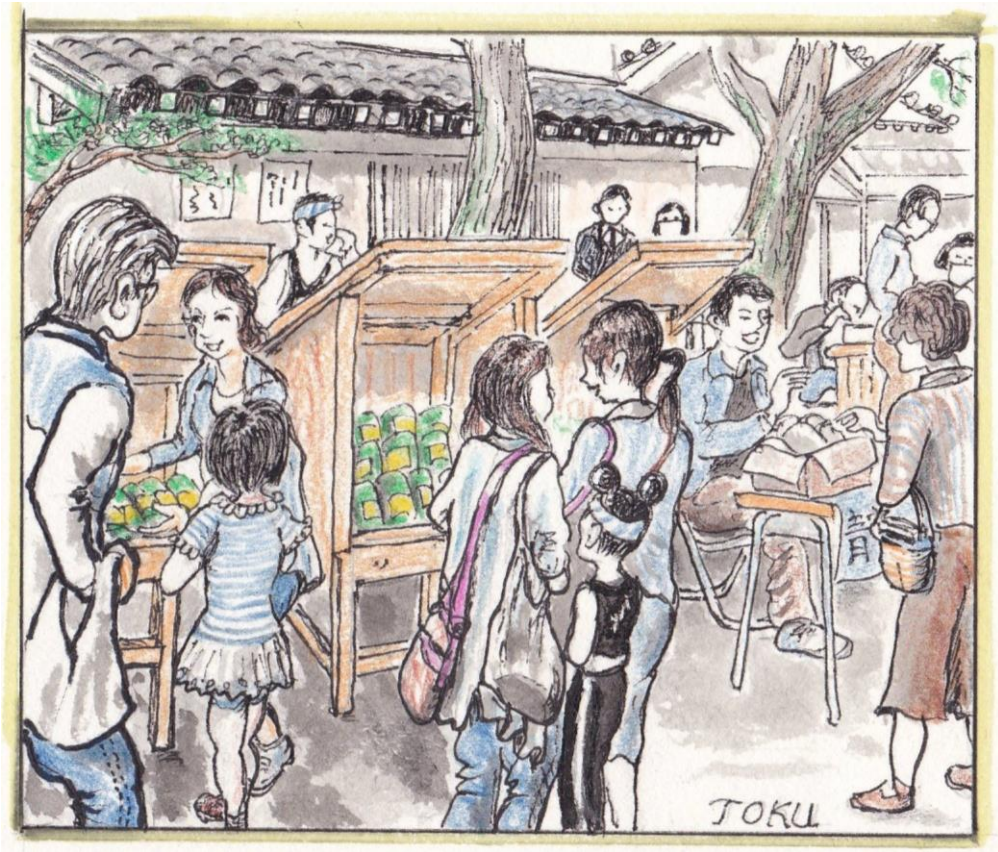
慶蔵院寺報
公孫樹
2017年６月発行
第65号
浄土宗慶蔵院
伊勢市小俣町元町 1211
℡０５９６（22）3726



てらこや交流広場　　西里定一　画

「後に続くものを信じて走れ」

「てらこや交流広場」の会場で、「『天ぷらそば』はないの…」と何人かの方から声をかけられました。公孫樹で案内をお知らせした際にも、「今年は『天ぷら蕎麦』がなくなったんやなぁ、楽しみにしとったのに…」との声もよせられました。

俊カイ君の一周忌から始まった「てらこや交流広場」。その一回目から五年間連続で天ぷら蕎麦をつくりつづけ「てらこや塾」を支援してくれたTさんが、五月二日、極楽浄土に往生されました。

昨年の十一月末ごろに、「首から来る神経痛で体中が痛いので、しばらく行事に出ることができません」と連絡がありました。私たちは一か月もすれば復帰してきてくれるだろうと思っていました。

Tさんが参加されていた行事は、念仏会・読経会・男性詠唱隊、他には松禅院での念仏や修理のボランティア、ベトナムの子どもたちへの食事支援…。てらこや塾の財政活動にも協力してくれて、ニンニクの種植えから草とり、収穫まで、奥さんと一緒に、ある時はお孫さんもつれて畑に出てくれました。草とりは、知らない間に来ては、ニンニクの成長をたのしみにしながら、きれいにしていってくれました。「元気になったらハウスにも手伝いに行きますから…」とほうれん草も楽しみにしてくれていました。

昨年の七月十三日の念仏会百回記念には、「てらこや塾」の卒業生で、高校・専門学校とデザイン美術を学んだ彩ちゃんに頼んで、かわいい和尚さんの絵を描いてもらい、仲間の皆さんにもプレゼントしてくれました。その原画に何かを書けと言われるので、「**後に続くものを信じて走れ**」と書いて、手渡すと「まだ走るつもりですか」と笑っておられました。

後に続く私の手本となる人生を示していってくれたTさん。自分の信念を貫いて駆け抜けていったTさん。私のこれからの人生、Tさんがいつも伴走してくださることを信じつつ歩んで行きたいと思います。

6月の行事予定

7日（水）	写経会 映画界	午前10時～ 午後7時半～
14日（水）	念仏会	午後7時半～
21日（水）	写経会 気の教室 講師　高野　葉先生 馬場久美子先生 男性詠唱隊	午前10時～ 午後1時～　健康教室・ 歩き方教室　参加費500円 午後2時半～ヒーリング500円 午後7時半～
28日（水）	読経会	午後7時半～
25日（日）	戦没者慰霊・平和の鐘	午前11時～
11日（日）	インド古典音楽コンサート	開場12時　開演14時 慶蔵院本堂にて
24日（土）	子ども会 田中伸一先生と歌おう	午前10時～12時
8日22日（木）	英語教室 講師　三浦邦昭先生	午前10時～ 午後1時半～
9日23日（金）	茶道教室 講師　村井宗玲先生	午後7時～子ども茶道教室 午後7時半～大人の茶道教室 子ども無料　大人500円
14日（水）	パソコン教室	午後1時～参加費500円。質問に答えるかたちで教えていただきます。

インド古典音楽コンサート

6月11日(日)開場12時 開演14時

慶蔵院本堂にて

チケット　前売3000円 当日3500円

インドの人間国宝　シタール奏者
シュベンドラ・ラオ
世界で活躍　タブラ奏者
ドゥルジェイ・バウミック　が来日、来寺!!

浄土宗新聞より

薫風やみむねあらはす身とならむ
みめぐみをたまひしこの身炎天下
格也

第４回慶蔵院団体参拝バス旅行報告

岐阜八百津・大仙寺・杉原千畝記念館

大山寺山門

大山寺参道

大山寺本堂

40名の参加がありました。10時から町を一望する大仙寺様の本堂にて先代住職さんのお話、住職さんのご指導で臨済宗の座禅を体験させていただきました。さわやかな風が吹き抜ける中、警策（きょうさく）で肩を打たれる体験もしながら、気持ちのいい時間を過ごさせていただきました。休憩のお抹茶は、襖絵に椿の一生が描かれた部屋の椅子席で、椿の和菓子とともにいただきました

昼食後、八百津の町を散策しながら買い物。３時から、国の命令に反してビザを書き続け、6000人のユダヤ人の命を守った杉原千畝の記念館を見学しました。夏にはユネスコ世界記憶遺産に登録されることになるでしょう。

お天気にも恵まれ、男性詠唱隊の皆さんのお世話で、和やかな、楽しいバス旅行にしていただきました。

子ども会

ベトナムの生徒も一緒です

6月24日（土）午前10時～

第１部　坂根八郎さん、高橋薫さんのお話、紙芝居、絵本

第２部　**田中しんいちさんと歌おう！**

シンガーソングライターの田中伸一さんのギターで!!
歌集を見ながら、みんなで一緒に歌います。

俊明忌・てらこや交流広場ご協力ありがとうございました

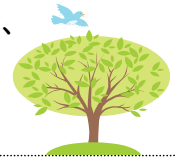
ネパールカレー・赤飯・お茶席・ポン菓子・フライドポテト・トロピカルジュース等　81,200円

本・フリーマーケット・鯛焼き・わたる君クッキー・文具・野菜等　54,150円

俊明忌御供　17,000円

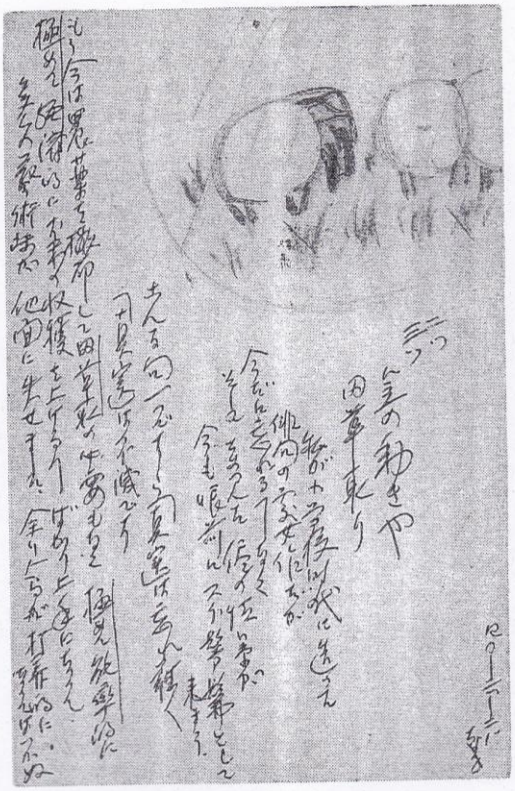
合計　152,350円

綿菓子機借用料・カレー材料・フライドポテト等仕入れ金を差し引き、収益金は135,970円でした。大切に使わせていただきます。ありがとうございました。



関谷喜与嗣上人が平成十八年まで発行してみえました「一味」誌を紹介します。

この出合いを大切にする
―奥田幾治郎先生を追憶して―



二つ　三つ
笠の動きや　田草取り

私が小学校時代につくった俳句の処女作だが、今だに忘れることなく、そして　その見たままの情景が　今も眼前にすぐ髣髴として来ます。こんな句一つですら「真実」は忘れ難く「真実」は不滅です。　もう、今は農薬を撒布して田草取りの必要もなく　極めて能率的に　極めて経済的にお米の収穫を上げることばかり上手になって、多くの芸術味が　他面に失せました。
余り人間が打算的になってはいかぬ。

中野善英上人遺墨　信者へのお便りより

よい恰好（かっこう）をすることに
浮身をやつしてはいないか――
恩師奥田幾治郎先生は「到彼岸」に
「ええ恰好」をせぬこと、自然態で
いきたい――　とのべて逝かれた
中野善英上人も生涯質素な服装を身に
まとい、一枚の紙も無駄にせず
「真実一路」の生活を貫かれた
釈尊の糞掃衣の求道を忘れないように
したい
このような真生道に徹した恩師との
邂逅（かいこう）――めぐり合い――は
生涯にただ一度の「いのち」のふれ
合いであり　求めて得られるもので
もない　呼びかけ給う如来力に応え
うるものにのみめぐりあえる喜びで
ある　み仏との出合いを体験し
値遇（ちぐう）――値（あう）遇（あう）――せしめ給うた師恩を忘れない
ようにしたい
心と心との触れ合いによって自己内面
が変革したという――邂逅でありた
い　恩師との出合い、よき教え　よ
き本との出合いが生涯精神的に持続
し、よきことば、よき文が人の心に
一閃を与えるようでありたい――
（編　者）

慶蔵院ホームページ：http://www.keizouin.com/　をご覧下さい。